

2026 年 7 月 13 日作成 Ver.5.0

《情報公開文書》

超硬合金製長寿命マイクロトーム替刃を
用いた硬組織薄切試験

研究の概要

【背景】病理組織検査において、質の良いパラフィン包埋切片作製（薄切）は中軸的な技術であり、正確な診断を行う上で最も重要な工程の一つです。組織には柔らかい組織もあれば、硬い組織もあり（硬組織）、硬組織では組織を柔らかくする脱灰操作を必要とする場合があります、時間がかかる、また質の良い薄切がしばしば困難な事があります。その様な中、（株）ファインテック（以降、FNT と表記）は超硬合金製長寿命マイクロトーム替刃を開発したため、性能試験の依頼がありました。本依頼の試験において、超硬合金製長寿命マイクロトーム替刃の性能が証明された場合、硬組織において薄切困難症例の薄切に対して、大きな進歩をあたえるもので、病理業務の効率化に貢献すると考えられます。

【目的】超硬合金製長寿命マイクロトーム替刃において、硬い組織を含めた組織で綺麗に標本を作製でき、刃が使用できなくなるまでの寿命を検証します。

【意義】硬組織において薄切困難症例の薄切に対して、大きな進歩をあたえるもので、病理業務の効率化に貢献すると考えられます。

【方法】病理組織診断が終了し、今後診断に影響しない組織ブロックを収集し、薄切します。寿命試験として、普段の日常業務で提出されやすい肺や乳腺などの組織を薄切し、刃が何枚目まで性能を保持できるか薄切します。染色をして標本が綺麗にできているか、技師と病理医が確認します。

脱灰薄切試験として骨などの硬組織（普段の業務で脱灰を必要とする硬い組織）を薄切し、何枚目で切れ味が落ちるか検証します。染色をして標本が綺麗にできているか、技師と病理医が確認します。

染色試験として脱灰程度の異なるブロックを薄切し、HE 染色と免疫染色を施行し、染まり方の差異を確認します。病理医が標本を確認し、評価可能か判定します。

本研究の対象となる組織検体

2020 年 1 月 1 日から 2025 年 8 月 31 日までに当科に組織を提出された検体を用います。

この検体は病理組織診断終了後の検体になります。あなたの病理診断結果等に影響はありません。

研究に用いる試料	
●研究に用いる情報 臨床情報(性別、年齢、採取部位) ●研究に用いる試料 病理組織診断終了後の診断に影響を与えないヒトの残余病理組織検体 本研究で利用する試料・情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。	
外部への試料・情報の提供について	
本研究では開発中のマイクローム刃の切れ味、染色性のデータを下記へ提供します。 提供先：株式会社ファインテック 提供方法：USB	
試料・情報の利用開始予定日／提供開始予定日	
本研究は研究機関長の許可日より「研究に用いる試料・情報」を利用する予定です。 あなたの試料・情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。 ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。 あらかじめご了承ください。	
研究実施期間	
研究機関長の許可日～2028年3月31日	
研究実施体制	
研究責任者	所属：長崎大学病院 病理診断科・病理部 氏名：大館拓真 住所：長崎県 長崎市 坂本 1-7-1 電話：095 (819) 7562
試料・情報の管理責任者	長崎大学病院 病院長
問い合わせ先	

【研究の内容、試料・情報等の利用停止／他機関への提供停止の申し出について】

長崎大学病院 病理診断科・病理部 大館拓真

〒852-8501 長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号

電話：095（819）7562 FAX 095（819）7564

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療相談室 095（819）7200

受付時間：月～金 8：30～17：00（祝・祭日を除く）